

現代の社会制度は、餘りに表面的競争本能を激成  
するものであつて、之れが破滅に  
導くものでなく、何んぞ存するか。

人は生れながらにして自らを愛し自らを守る本能を  
有し權利を持つ、我等は現代の如き人類半面の生活  
即ち弱肉強食排他競争の甚より自らを救ひ  
自らを守るに足らぬより、是を社会に任せしめんからんや  
益に大阪紡織労働組合を組織し、徒らに革命病  
に罹らざる、事なく、さりとして其を家の利慾充足  
の道具とする事と、廃除し剛健正気を得る事、労働運  
動に依り、技術の練磨、智育、德育、体育、の発達を  
計ると共に平和なる社会の建設を期するものがある。

以上

大正十五年三月廿八日

日本労働総同盟  
大阪紡織労働組合